

# 三世代の住まい方

## 同居（共有）

個室以外の基本的な生活空間を殆ど共有し、三世代で賑やかに仲良く暮らすスタイルです。



## 同居（ほどほど共有）

生活条件に合わせて住まいの一部を共有し、一部を別々に設けて、三世代が快適に暮らすスタイルです。



## 同居（全て分離）

玄関をはじめ生活空間を全て分離し、お互いの気配を感じて暮らすスタイルです。



## 近居

それぞれの生活を尊重し、必要な時には、いつでも行き来のできる近距離に暮らすスタイルです。

※山口県では、同一小学校区内など、子ども達が自由に行き来できる距離を近居としています。



- 生活費や維持費が節約できる
- 生活リズムにはある程度の協調が必要
- プライバシーの守れる場所が少ない

- 共有部分が少ないほど建築費が増える
- ほどほどの生活リズムが確保できる
- ある程度のプライバシーが守れる

- 自分たちの生活リズムで暮らすことができる
- 育児協力が得られる
- 緊急時にもすぐに助け合える
- 一つの屋根の下に暮らす安心感が得られる
- 建築費や生活費とも多くなる
- プライバシーを守りやすい

- お互いに自立して生活できる
- 自分の生活リズムも守れる
- 短時間で行き来できるので緊急時も安全
- 育児などもお互いの家まで通いやすい
- 近距離に住んでいるという安心感がある
- 敷地の確保や建築費などに費用がかかる

- 三世代間コミュニケーションがとれる
- 家事協力が得られる
- 育児協力が得られる
- 一緒に暮らす安心が大きい（病気・防犯）
- 家風や生活習慣等を伝えやすい

